

国立病院機構熊本医療センター

No.143



# くまびょう NEWS

NHO KUMAMOTO MEDICAL CENTER KUMABYO NEWS

発行所  
国立病院機構熊本医療センター  
〒860-0008  
熊本市二の丸1番5号  
TEL (096) 353-6501(代)  
FAX (096) 325-2519

## 災害拠点病院(地域災害医療センター)に指定される



救命救急部長  
高橋 毅

阪神・淡路大震災の教訓を生かし、新たな災害医療体制のあり方を研究するため、平成7年4月に被災地の医療機関、医師会等の関係団体、救急医療、建築、機器設備、情報通信、医薬品の専門家の参加による「阪神・淡路大震災を契機

とした災害医療体制のあり方に関する研究会」を設置し、平成8年4月に報告書が提出されました。同報告書の趣旨を踏まえ、平成8年5月10日、各都道府県知事に対し、「災害時における初期救急医療体制の充実強化について」の厚生省健康政策局長通知を発出し、災害拠点病院が整備されることになりました。

災害拠点病院(地域災害医療センター)は、多発外

傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度な診療機能を有し、被災地からの重症傷病者の受入れ機能を有するとともに、傷病者等の受入れ及び搬出を行う広域搬送への対応機能、自己完結型の医療救護チームの派遣機能、地域の医療機関への応急用資器材の貸出し機能を有することが必要であります。したがって、災害時における患者の多数発生時には、入院患者については通常時の2倍、外来患者については通常時の5倍程度に対応できなくてはなりません。

当院は、9月には新病院が完成し、救命救急センターだけでも約700坪の広さになり、救命病床50床、災害時は100床対応可能となります。非公共用ヘリポートの整備も行い、万全の体制で熊本県全体を守って行く所存でございますので何とぞ宜しくお願い致します。

## 病院専用駐車場の駐車スペース変更のお知らせ

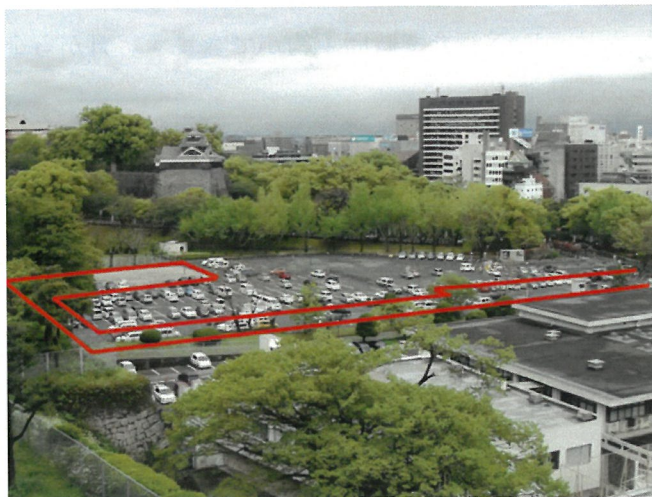
建設中の新病院も躯体工事が終了し、建物を覆っていた足場とシートも一部を除きはずされています。熊本城とマッチしたオフホワイトとブラウンを基調とした重厚な7階建ての新病院が、全貌を現しました。現在は、9月下旬の新病院での診療開始に向けて、内装工事等を急ピッチで進めております。駐車場及び工事等では大変ご迷惑をおかけしております。

今回、当院が熊本市より借用しております熊本合同庁舎横の「病院専用駐車場」に熊本市が、九州新幹線鹿児島ルート全線開業を見据えての工事が計画されております。その影響を受けて、事前の遺跡調査その後の工事等で熊本市より借用している駐車スペースが、3~4ヶ月毎に変更になります。ただし、駐車場入口の変更はありません。

4月中に「病院専用駐車場」が、右記のとおりとなり、収容スペースが少し狭くなりますが、ご協力とご

理解をお願いいたします。また、「病院専用駐車場」が、満車になりました時には、駐車場係員の指示に従って頂く様併せてお願いいたします。

(企画課長 森 幸一)







はじめまして。  
これからも宜しくお願いします。

医法) 服部会  
服部胃腸科

院長 後藤 英世



この4月1日から服部胃腸科の院長になりました後藤英世といたします。

専門は消化器。特に消化管疾患のなかでも大腸疾患を得意にしております。

簡単に経歴をのべますと、生まれも育ちも福岡県福岡市で、出身大学も福岡大学です。卒業後は炎症性腸疾患で有名であった、井上幹夫教授の健康管理科に入局し、病棟では鬼軍曹といわれながら若手をびびり鍛えていました。その後は、医局の許可も得ず、自分の精進のため、大腸の勉強をしに工藤進

英先生のいる秋田赤十字病院に研修にいきました。その後は、福岡大学に戻り消化器内科の助手を経て、7年前より服部胃腸科に勤務をしております。

現在はまっていることは、天草の筏釣りです。休みになると足しげく家族で通いつめています。さすがに天草、私のような素人にも、小学生の息子、妻にも40cm大の鯛や昨年の雨降りの5月にはあの高級食材のヒラメが7匹。釣れても釣れなくとも一日のんびり筏の上ですごしていると疲れもストレスもとんでいってしまいます。

さて消化管疾患の診断治療もこの7年間の間に様変わりをし、ESD、NBI、CT-colonoscopy、カプセル内視鏡、小腸内視鏡などその診断治療におけるや最先端を追えばきりがなくなっているのが現状です。しかし、忘れてはならないこと、それは基本に忠実なこと。基本とはなんですか？これらの最先端の医療機器や治療を行う前に、医療とは人と人との信頼関係を築く事が重要だと思います。どんなに最先端の医療を提供しても信頼関係がないと全く役にたちません。この信頼関係をつくるために我々は日々頑張っていく所存です。

最後になりましたがこの7年間、何度ともなくお世話になりました熊本医療センターのスタッフならびに先生方には本当に感謝をしております。今後とも緊急時や診断治療に難渋した際にはよろしく願いいたします。

## FAX紹介での時間予約制をご活用下さい

日頃、多くの患者様をご紹介頂きまして誠に有り難うございます。紹介患者様の待ち時間を短くするためにFAX紹介で時間予約ができます。月から金の日勤帯です。

当院のFAX紹介用紙に受診希望日を入れてお送り下さい。担当者がカルテを作成し希望日に時間予約を取りましてFAXにて返信致します。是非、FAX紹介での受診日の指定と時間予約制をご活用して頂き、患者様の待ち時間短縮にご協力下さい。よろしくお願い申し上げます。

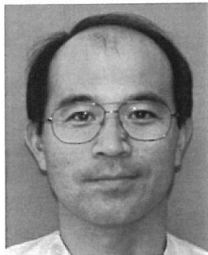
(経営企画室長 末次 剛輝)

### 紹介患者様FAX時間予約のお願い

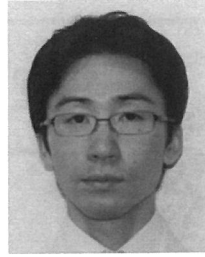




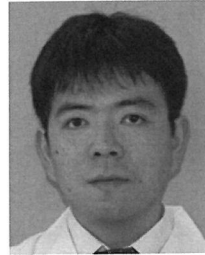
**医長**  
**渡邊 健次郎**  
精神神経一般、総合失調症、うつ病、リエゾン精神医学、精神科救急  
精神保健指定医  
日本総合病院精神医学会  
日本精神科救急学会



**医長**  
**山下 建昭**  
精神神経一般、うつ病、リエゾン精神医学、緩和ケア、精神科救急  
精神保健指定医



**医師**  
**橋本 聡**  
精神神経一般、うつ病、リエゾン精神医学、救急一般  
精神保健指定医  
日本精神科救急学会



**医師**  
**西 良知**  
精神神経一般  
日本精神神経学会



**医師**  
**杉本 展子**  
精神神経一般  
日本精神神経学会

## 診療内容と特色

50床の精神病床を有する総合病院の中の精神科という特徴を生かし、単科の精神科病院や精神科診療所では対応困難な精神障害の患者様を病診、病病連携を通じて受け入れております。特に、精神障害と身体疾患を同時に有する身体合併症の患者様の治療については、他科の先生の協力のもとに積極的に行っております。さらに、当院が救急医療に力を入れていることを反映して、精神科の救急患者も著明に増加してきており、特に最近急増している自殺未遂・自傷行為の患者様に対しては、身体面の治療と同時に精神面での対応を行っております。

## 診療実績 (平成19年度)

年間外来新患者数：約900名  
精神科一日平均外来患者数：52.6名  
精神科関連救急外来患者数：1,972名  
自殺未遂・自傷行為患者数：302名  
身体合併症患者数（精神科病棟入院のみ）：472名  
精神科入院患者数（一般病棟入院も含む）：930名  
精神科病棟平均在院日数：16.9日

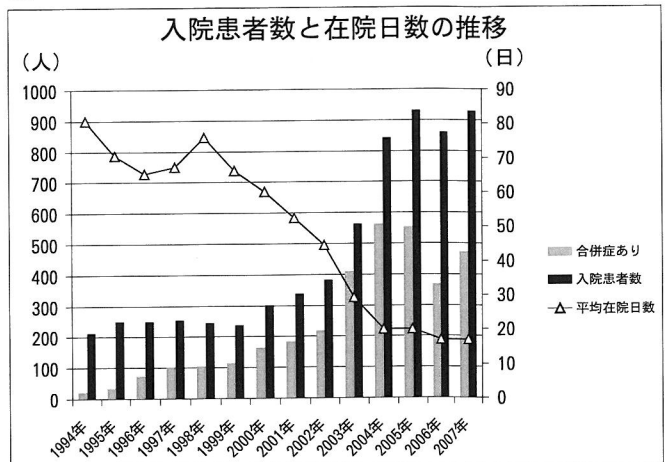
## 研究実績

日本総合病院精神医学会、日本精神科救急学会、熊本精神神経学会などへの研究発表を行っております。また、講演会を通じて精神科救急や、メンタルヘルス、うつ病などについての啓蒙を行っております。

## ご案内

患者様につきましては、診療情報提供書や、電話などでご紹介くださいますようお願いいたします。救急症例の場合はいつでも結構です。

その他、お困りのことがありましたらいつでもご連絡ください。



精神科病棟入院患者数の推移

### 最近のトピックス

#### 本邦初の放射線免疫療法薬



血液・膠原病内科

榮 達 智

イブリツモマブチウキセタン（ゼバリン®）は2008年1月CD20陽性の再発または難治性の低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫とマンテル細胞リンパ腫に対して本邦で初めて承認された放射線免疫療法薬です。マウス-ヒトキメラ型抗CD20抗体に放射性物質<sup>90</sup>Y（イットリウム）あるいは<sup>111</sup>In（インジウム）を結合させたものであり、CD20抗原を標的として腫瘍細胞に作用するのみでなく、隣接する腫瘍細胞に対してもβ線を介して作用し抗腫瘍効果を現わします。

B細胞の表面に発現されているCD20に対する抗体療法は2001年のリツキシマブ承認後から行われており、我々も2007年の米国血液学会で悪性リンパ腫に対する古典的な標準治療であったCHOPとリツキシマブを併用したR-CHOPとを比較しリツキシマブの長期予後に対する有用性を報告しましたが、その同じ学会場で同薬（ゼバリン®）の多国籍間無作為化比較試験であるFirst-Line Indolent Trial (FIT)の結果も発表されており、初回の寛解導入療法で完全寛解に至った進行期濾胞性リンパ腫の症例を無治療群とイブリツモマブチウキセタン投与群に振り分けて地固め療法としての効果を検討されたところ、progression free survival (PFS)が無治療群で29.9か月に対し、イブリツモマブ投与群では54.6か月と有意な延長が認められたと報告されています。リツキシマブ抵抗性の低悪性度リンパ腫に対して70%の奏効率も報告されており、まだ標準的治療が確立されているとは言い難い進行期低悪性度リンパ腫の治療の新たな選択肢となり得ると思われまます。更には中悪性度悪性リンパ腫に対する臨床試験も行われています（ZEAL試験）。

実際の投与に関しては、まずリツキシマブを投与し

正常B細胞表面のCD20をブロックした上で<sup>111</sup>In結合型のイブリツモマブチウキセタンを使用し、生体内での分布の確認を行い、骨髄への異常集積の有無を確認の後、約1週間後にリツキシマブで同様の処理を行った上で<sup>90</sup>Y結合型の投与を行い治療します。<sup>111</sup>In結合型で骨髄への集積が見られる時には著明な骨髄抑制の原因となりうるため投与は中止しなければなりません。また本剤投与時の骨髄抑制は通常の抗がん剤治療とは異なり、投与後6～7週後に血小板数や白血球数が最低値を示すようです。

この薬剤は調剤（標識）等の特殊な処理が必要な関係上、残念ながら当院では使用することができません。また治療費も非常に高額になるなど問題点は多いようです。特に最適な投与方法等の具体的な事柄はこれから臨床試験で検証していく必要があります。しかし将来的には悪性リンパ腫の治療においてリツキシマブが市販された時と同様のインパクトを同薬がもたらすことになるかも知れません。

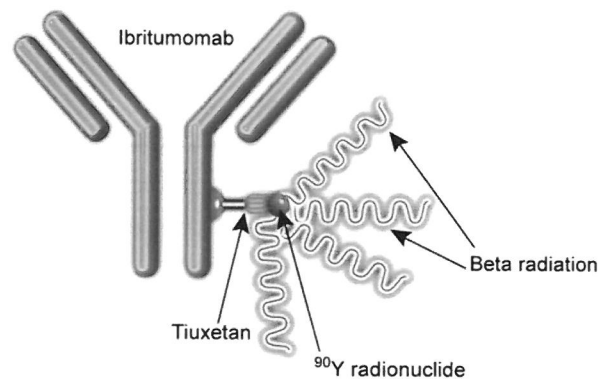


図1：<sup>90</sup>Y（イットリウム）-イブリツモマブチウキセタン (J. Nucl. Med. Technol., 2003; 31:61-68)

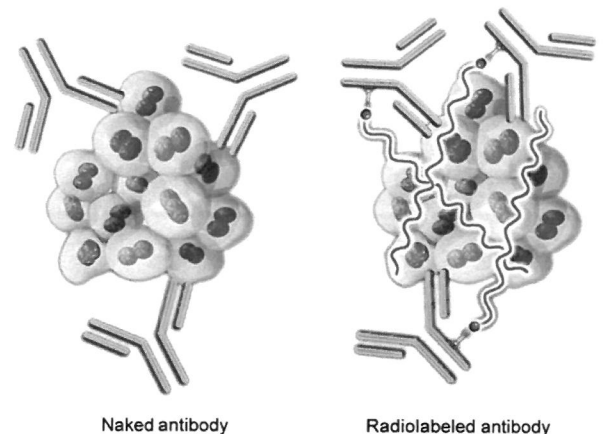
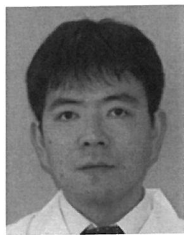


図2：放射線免疫療法薬により近隣の腫瘍細胞にも作用する事を示す概念図(J. Nucl. Med. Technol., 2003; 31:61-68)

## 新任職員紹介



精神神経科

にし よし とも  
西 良 知

4月より精神神経科で勤務させて頂いております西良知と申します。

平成17年に熊本大学医学部を卒業、主に熊大病院、熊本労災病院で初期臨床研修後、熊本大学神経精神科に入局し、熊大病院、熊本県立こころの医療センターで勤務しておりました。国立病院機構熊本医療センターが担っている役割は大きく、責任を感じるとともに、皆様のお役に立てる機会が得られたことに感謝しております。

初心を思い出し、成長していきたいと思っております。御指導どうぞよろしくお願い致します。



呼吸器センター

呼吸器内科

やま ね ひろ み  
山 根 宏 美

平成21年4月より呼吸器内科で勤務させて頂いております山根宏美と申します。

平成17年に熊本大学医学部を卒業後、熊本赤十字病院で2年間の初期研修を行い、熊本大学呼吸器内科に入局しました。熊本大学で1年間後期研修を行った後、

昨年1年間は大牟田天領病院に勤務しました。

今回、第一線の救急病院という恵まれた環境で働ける機会を得たことを嬉しく思います。何事にも謙虚な姿勢で積極的に取り組み、新しいことを吸収していきたいと思っております。また、多忙な救急病院ですが、スタッフとのチームワークを大切に忙し中でも楽しく仕事をしたいと思います。

医師としてはまだ未熟者でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



脳神経センター

脳神経外科

うえ かわ けん  
植 川 顕

4月から脳神経外科に勤務させて頂いております植川顕（うえかわけん）と申します。私たちの年から初期研修制度が始まり、医師になって最初の1年間を熊本医療センターで研修させて頂きました。たくさんの先生方にご指導頂きながら貴重な経験ができたことを今でも鮮明

に覚えています。平成18年に熊本大学脳神経外科に入局し、その後、荒尾市民病院・徳田脳神経外科（鹿児島県）に勤務しました。今年で医師になって6年目になりますが、診療の中でもしばしば未知のことを経験し、医学の複雑さ・奥深さを痛感します。

脳神経外科は興味に満ちた、とてもやりがいのある科です。そして熊本市の中核病院である熊本医療センターで働けることを大変うれしく思います。前向きにしっかりと頑張っていきたいと思っておりますので、何卒、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

### ■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願い致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで

## 新任職員紹介



### 消化器病センター

#### 消化器科

た しろ な つ み  
田代 奈津己

4月より消化器科で勤務させていただいております田代奈津己と申します。

2006年に熊本大学を卒業後、熊本大学医学部附属病院にて2年間の初期研修を終え、熊本大学病院消化器内科

に入局いたしました。入局後1年目は熊本大学医学部附属病院にて後期研修を行い、本年度は入局後2年目となります。

国立病院機構熊本医療センターには、初期研修1年目の10月から1年間お世話になりました。各科の先生方には非常に熱心にご指導いただき、大変感謝しております。まだまだ知識や経験不足で、皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、1日も早く戦力になれますよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 腎センター

#### 腎臓内科

た しり けい こ  
田尻 景子

4月より腎臓内科で勤務させて頂いております田尻景子と申します。

平成18年に熊本大学医学部を卒業後、熊本中央病院で前期研修後、平成20年に熊本大学腎臓内科に入局し、腎

臓内科としては今年で2年目になります。

救急が盛んで、症例数も多く、また自分の生まれ育った町の近所である熊本医療センターに勤務させて頂くこととなり、大変喜ばしく思う反面、不安も感じております。

まだまだ未熟者であり、多くの先生方にご迷惑をおかけするかと思いますが、少しでもお役に立てるよう精一杯努力して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程宜しく申し上げます。



### 精神神経科

すぎ もと のぶ こ  
杉本 展子

平成21年4月より精神神経科に勤務させて頂いております杉本展子と申します。

熊本大学医学部附属病院にて1年間、熊本中央病院にて1年間の計2年間の初期臨床研修を終了し、昨年、熊

本大学神経精神科へ入局しました。大学病院で1年間勉強させて頂き、この度、当院へ勤務となりました。

まだまだ勉強中の身ですが、精神科領域においても、特に身体疾患合併例にて地域の救急病院として活躍する当院にて少しでもお役に立てれば、と思っております。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、精神科としての専門性を発揮できるように皆様方とも連携を大切にしながら診療に携わっていきたく思います。

何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

くまびょうNEWS55号から継続して掲載されています。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>



# 研修のご案内

## 第124回 月曜会（無料） （内科症例検討会） 〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

日時▶平成21年5月18日(月)19:00~20:30  
場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟4階

日常診療の悩みを解決します。ぜひ、ご参加ください。

1. 柏原医長による胸部レントゲン読影
2. 持ち込み症例の検討
3. 症例検討「リウマチ性髄膜炎の1例」

国立病院機構熊本医療センター脳神経センター神経内科医長 田北 智裕

4. ミニレクチャー「閉塞性動脈硬化症に対する経皮的血管形成術」

国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科医長 藤本 和輝

悩んでいる症例、これは情報共有したいと思われる症例をお持ち下さい。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川 哲志 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

## 第97回 救急症例検討会（無料）

日時▶平成21年5月27日(水)18:30~20:00  
場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟4階

症例検討「小児科救急」

国立病院機構熊本医療センター小児科部長 高木 一孝

特別講演「Let me decide」

青磁野リハビリテーション病院理事長 金澤 知徳

医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501(代表) 内線263 096-353-3515(直通)

## 第93回 三木会（無料）

日時▶平成21年5月28日(木)19:00~20:45

（糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会）

場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟1階

〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

※注意：5月は第3木曜ではなく第4木曜です。

〔日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定〕

1. 「有痛性神経障害を伴った2型糖尿病の1例」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

児玉章子、花谷聡子、高橋毅、豊永哲至、東輝一朗

2. 「生活習慣病と食事」

熊本機能病院病態栄養部部长 柿村 葉子

3. 「緩徐進行1型糖尿病の1例」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

豊永哲至、花谷聡子、児玉章子、高橋毅、東輝一朗

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗 TEL 096-353-6501(代表) 内線705

## 医学生のための初期臨床研修説明会 6月27日開催

期日：平成21年6月27日(土)14:00~18:00

場所：国立病院機構熊本医療センター教育研修棟

内容：病院としての新構想説明、臨床研修プログラム説明、病院見学、研修医、指導医との意見交換会など

詳細についてはホームページをご覧ください。<http://www.hosp.go.jp/~knh/> まで

2009年

# 研修日程表

5月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

5月	教育研修棟 1階	教育研修棟 4階	その他
1日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
7日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
8日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
11日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
12日(火)			8:00 救急部カンファレンス C 15:00 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局 19~21 泌・放射線科合同ウロプログラム C
14日(木)		19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
15日(金)		18:00~20:00 熊本地区核医学技術懇話会	8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
18日(月)		19:00~20:30 第124回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座 3単位認定]	8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
19日(火)			8:00 救急部カンファレンス C 15~19 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局
21日(木)	19:30~21:00 有病者歯科医療研究会		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
22日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
23日(土)	9:30~16:00 第24回 ナースのための心電図セミナー(会費制) 〈講演〉心電図の基礎 国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 宮尾 雄治 各種心疾患における心電図 国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 藤本 和輝 不整脈 末藤内科循環器科院長 末藤 久和 〈実習〉心電計の取り扱い方 国立病院機構熊本医療センター循環器科医長 藤本 和輝 国立病院機構熊本医療センター循環器科 古賀 英信 国立病院機構熊本医療センター循環器科 本多 剛 国立病院機構熊本医療センター循環器科 金澤 尚徳 (※今回は看護学校2階教室で行います)		
25日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
26日(火)	19:00~21:00 小児科火曜会	18:30~20:30 血液研究班月例会	8:00 救急部カンファレンス C 15~19 外科術前術後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局
27日(水)		18:30~20:00 第97回 救急症例検討会 症例検討「小児科救急」 特別講演「Let me decide」 青磁野リハビリテーション病院理事長 金澤 知徳	
28日(木)	19:00~20:45 第93回 三木会 (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座 3単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2科>>0.5単位認定]	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
29日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
30日(土)			10~12 楽しく学ぶ基礎看護技術講座 学校

(会) 会議室 C 病院本館2階カンファレンスルーム 手 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム 心リハ 心大血管リハビリテーションセンター 学校 看護学校  
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター  
TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)